



ひとと自然が響き合い未来へ奏でる人道のまち やおつ

やおつ

議会だより

No.196

2024.11



令和6年9月26日・27日 建設文教常任委員会 先進地視察研修

子どもたちに明るい未来を！

建設文教常任委員会 先進地行政視察研修

建設文教常任委員会 先進地行政視察研修	2
第3回定例会情報	4
第3回定例会議決情報	7
第3回定例会 一般質問	8
議会日誌	12



建設文教常任委員会 先進地行政視察研修

長野県 佐久穂町・南箕輪村・箕輪町
令和6年9月26日(木)・27日(金)



南箕輪村議会議場にて林源次議長と

建設文教常任委員会委員5名が、長野県佐久穂町、南箕輪村、箕輪町を視察しました。

実際に足を運ぶことで、現場の空気を肌で感じられ、多くの学びが得られました。

よりよいまちづくりに活かしていきます。

○9月26日 木曜日

1 佐久穂町

「施設一体型小中一貫校」

平成27年に小学校4校、中学校2校を合併し、施設一体型小中一貫校が誕生した佐久穂町。

地元産の木材がふんだんに使われた校舎は明るく、子どもたちがのびのびと学んでいました。非常時は地域防災センターとしての役割も担います。

文部科学省から特例校の指定を受けた小学1年生からの英語教育のほか、町の主な産業である林業を学ぶことと学習や、地元農産物を優先的に使用する「さくほ給食」、小学5年生からの教科担任制など、特色ある取組みが多く見られました。

Q 児童数はどのように変化しましたか。

A 転入児童が大きく増加し、児童数の減少に鈍化が見られています。子どもをこの学校に通わせるため移住された方(教育移住者)も数多くいらっしゃいます。

Q スクールバスはどのように運行していますか。

A バスは全部で7台。一番遠い子で40分ほど通学に要します。

登校は小中学生一緒ですが、下校時間に差があるため、下校時は小学生と中学生を分けて運行しています。夏休みの部活などでもバスを利用できます。

はつらつと学び生活する子どもたちの姿が印象的でした。

「教育移住」という言葉が生まれるほど、子どもの教育のために移住を考える家庭が増える中、八百津町でも特色ある教育を進めることで、町のブランド化が図れ、移住者の増加が望めるのではないかと感じました。子どもたちのことを第一に考え、学校統合に取り組んでいきます。



2 南箕輪村

「子育て支援策

「女性就業お仕事相談」

「日本一子育てにやさしい村」をめざし、全国でもいち早く子育て支援に特化した施策を行ってきた南箕輪村は、今も人口増加を続けています。

子育て支援策の一つである「女性就業お仕事相談」は、就職先の紹介だけでなく、就職活動の支援やスキルアップのためのセミナーの実施など、再就職をめざす女性を積極的に支援する取り組みです。

Q 人口増加が続いている理由をどのように分析していますか。

A 南箕輪村が現在行っている子育て支援施策は、現在では多くの市町村が実施しています。

ちがいは、他市町村より早い時期から実施してきたこと。「子育てするなら南箕輪」というクチコミが定着していることが人口増加の要因だと考えています。

管理職の女性割合が6割を超える南箕輪村役場。まさに女性が活躍する村です。子育て世帯が安心して生活できる環境づくりをさらに進めるべきだと感じました。

3 箕輪町

「再生エネ促進区域」

箕輪町は、2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロをめざした「ゼロカーボンシティ宣言」を発表し、環境省モデル事業として「再生可能エネルギー促進区域」に指定されました。

家庭・事業所向け設備（太陽光発電、蓄電、電気自動車、住宅断熱など）の導入補助を実施しているほか、現在は役場駐車場にPPAモデルによるソーラーカーポートの建設を進め、再生可能エネルギーの地産地消に取り組んでいます。

Q 公共施設の太陽光発電は、現在何キロワット発電していますか。

A 設備容量（公共施設で使用する電力の総量）39万キロワットに対し、12万6400キロワット発電しています。

各施設を自宮線につないでマイクログリッドを形成し、電力を融通しています。

公用車34台を電気自動車に変え、非常時は「自走する蓄電池」として各地区に電気を届ける仕組みは、大変参考になりました。

国や県の交付金などを研究しながら、環境問題にも取り組んでいきたいと考えています。

研修を終えて……

建設文教常任委員会の先進地行政視察研修では、特に関心の高かった「学校統合」「再生可能エネルギー」、「子育て支援」をテーマに、3町村で先進事例を学んだ。佐久穂町では、統合から10年経過した学校の姿を見ることができた。統合までの道のりは紆余曲折あったが、子どもたちにとってより良い道を選んだという言葉に感銘を受けた。

南箕輪村はどこよりも早く子育て支援施策に力を入れ、また、箕輪町は全国に先駆けて再生可能エネルギー施策を実施している。

時代の流れに後れを取らないよう、スピード感を持って、政策実現に取り組むべきだと改めて感じた。

建設文教常任委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 林 俊宏 |
| 副委員長 | 加藤 良治 |
| 委員 | 三宅 和行 |
| 委員 | 安藤 峰行 |
| 委員 | アディエ三恵 |



9月 定例会

- 令和6年度八百津町一般会計補正予算(第4号) など
10 議案を可決・承認
- 令和5年度一般会計など各会計決算6件を認定

令和6年第3回定例会は、去る9月12日に招集され、同月20日まで9日間の会期で開かれました。本会議初日の12日には、金子町長から行政報告と提案理由の説明があり、続いて、執行部から提出議案16件について議案説明が行われました。次いで、各議案に対する質疑が行われた後、各常任委員会にそれぞれ議案の審査が付託されました。

本会議2日目の20日には、5名の議員が一般質問を行いました。この様子はCCNetで生中継、録画放送され、動画の配信もされました。その後、各常任委員会委員長から、付託された案件についての審査の経過及び結果の報告があり、採決の結果、全議案を原案のとおり可決・承認し、今定例会を閉会しました。

主な事業を第5次総合計画の基本目標に沿って説明します。

基本目標1 笑顔で寄り添う福祉と健康のまちづくり

○高齢者医療機関予防接種委託金等 2904万円5000円

基本目標2 優しく郷土愛を育む歴史・文化のまちづくり

○指定文化財保護事業補助金 28万8000円

基本目標3 とともに考え、ともに創る魅力・にぎわいのあるまちづくり

○HATTI災害復旧工事費 306万3000円

○人道の丘遊具修繕工事業 375万4000円

「実践プレゼンテーション研修」を実施



8月22日(木)、「実践プレゼンテーション研修」に議員全員が参加しました。
この研修は、議合力アップのため、今年度重点的に行っている研修のひとつで、実践形式で「伝える」ことを改めて学びました。
参加した議員は、「話の構成、姿勢、間の取り方、話す強弱など多くの気づきを得た。話すことは議員にとって重要な要素。学んだことを無意識にできるようにしたい」と語りました。

主として「みんなごと」が決まりました



専決処分

- ▼令和6年度八百津町一般会計補正予算 (第3号)

火災により被災した建物（HATER）の復旧を行う必要が生じたものです。

うち295万8千円は建物災害共済金を充当します。

▼建物災害復旧工事費 ……306万3千円

【結果】 承認

条例

- ▼八百津町情報公開条例の一部を改正する条例

公文書の開示請求者を限定せず、誰でも開示請求ができるよう条例の一部を改正するものです。

【結果】 可決

- ▼八百津地区排水路整備事業基金条例を廃止する条例

排水路整備事業は令和5年度末で事業完了し、基金の目的が達成されたため条例を廃止するものです。

【結果】 可決

決算

- ▼令和5年度八百津町一般会計歳入歳出決算認定

令和5年度八百津町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

令和5年度八百津町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

令和5年度八百津町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

令和5年度の各会計の歳入歳出決算ならびに基金の運用状況について、各会計とも議決された予算の執行が適正に行われていると認められました。

【結果】 認定

- ▼令和5年度八百津町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定

令和5年度八百津町下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定

令和5年度の公営企業会計の決算について、上・下水道ともに適正に執行されていると認められました。

【結果】 可決・認定

決算状況については、

「広報やおつ」11月号をご覧ください。

予算

- ▼令和6年度八百津町一般会計補正予算 (第4号)

主な内容は、過年度分国庫・県支出金返還金、新型コロナウイルスワクチン接種委託料、民有林に関する意向調査・境界確認・現地調査に係る委託料などで、次のとおりです。

▼総務関係の追加	116万9千円
▼民生関係の追加	525万8千円
▼衛生関係の追加	547万9千円
▼農林水産業関係の追加	43万5千円
▼商工関係の追加	375万4千円
▼教育関係の追加	231万2千円
▼諸支出金の追加	339万4千円

【結果】 可決

- ▼令和6年度八百津町国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)

令和6年度八百津町介護保険特別会計補正予算 (第1号)

保険給付にかかる県交付金の清算に伴う返還金です。

【結果】 可決



その他

▼財産の取得

令和2年度・6年度に購入した、小学校教師用デジタル教科書および指導書、特別支援教育指導書について、事後的に議会の議決を求めるものです。

【結果】 可決

人事案件

▼固定資産評価審査委員会委員



永田 幹雄 氏

任期
令和6年10月1日から
令和9年9月30日まで
3年間



垣内 公一 氏

任期
令和6年10月1日から
令和10年9月30日まで
4年間

▼教育委員会委員

よろしく
お願いします



委員会での主な質問

Q 人道の丘公園遊具工事費については、遊具が新しくなるのですか。

A 点検で危険箇所が見つかったため、既存の遊具を修繕します。
工事は年度内に完了する予定です。

Q 私有林の森林管理の意向調査について、荒川上流を選定した理由は何ですか。

A 継続的に行っている事業です。荒川上流は水源地となっているため、選定しました。

Q 自主運行バスについて、原油高が続く中、なぜ経費が下がったのですか。

A 西部やおまるについて検討を重ね、消耗品の見直しなどを行いました。
東鉄バス八百津線の美濃加茂市の負担金についても見直しています。

みんなを
乗ろう！
やおまる



Q 庁舎建設基金の積み立てをしていますか、建設時期など目標はありますか。

A 新庁舎建設について建設時期など詳細は決まっておりません。今後、精査しながら積立を継続していきます。

Q マイナ保険証は町内すべての医療機関で利用できますか。

A マイナ保険証は、現在、町内全ての医療機関、院外処方薬局で使用できます。
現在の八百津町のマイナンバーカードの交付率は83.7%（令和6年7月31日現在）。今後も取得、健康保険証としての利用を奨励していきます。

ピックアップ PICK UP!

○お早めに！マイナンバーカードの健康保険証利用登録

令和6年12月2日以降、現行の健康保険証は新たに発行されなくなり、その後は、マイナンバーカードを健康保険証とするしくみに移行します。（移行後もお手元の健康保険証は有効期間までの間、最長1年間使用できます。）

マイナ保険証の利用によって、データに基づくより良い医療が受けられるようになるなど、さまざまなメリットがあります。

マイナ保険証 ぜひご登録を！



9月定例会 議案等の審議結果

全ての議案が全会一致で承認・可決されました。

議案番号	議案名	結 果	ア ブ ラ ハ マ 三 恵	渡 邊 成 章	後 藤 一 夫	安 藤 峰 行	後 藤 香 代 里	赤 塚 孝 博	長 谷 川 泰 幸	加 藤 良 治	林 俊 宏	三 宅 和 行	主な内容
議案第 39 号	専決処分した事件の承認について（令和 6 年度八百津町一般会計補正予算（第 3 号））	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	306万3000円を追加し、 予算総額を63億3383万5000円とする
議案第 40 号	八百津町情報公開条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	情報公開制度の趣旨に鑑み、開示請求権者を限定せず、対象をより拡大するため、条例の一部を改正する
議案第 41 号	八百津地区排水路整備事業基金条例を廃止する条例について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	八百津地区排水路整備事業基金の目的が達せられたことから、条例を廃止するもの
議案第 42 号	八百津町福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	児童扶養手当法施行令及び特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、所要の改正を行うため、条例の一部を改正するもの
議案第 43 号	八百津町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行うため、条例の一部を改正するもの
議案第 44 号	令和 5 年度八百津町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	歳入 69億6663万 671円 歳出 65億 749万8549円
議案第 45 号	令和 5 年度八百津町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	歳入 12億9043万1326円 歳出 12億3880万1759円
議案第 46 号	令和 5 年度八百津町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	歳入 2億 430万5131円 歳出 1億9840万 215円
議案第 47 号	令和 5 年度八百津町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	歳入 11億3753万5082円 歳出 11億3388万9098円
議案第 48 号	令和 5 年度八百津町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	収益的収支 収入 3億9980万7662円 支出 3億6383万 529円 資本的収支 収入 8301万7700円 支出 1億8771万1000円
議案第 49 号	令和 5 年度八百津町下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	収益的収支 収入 4億1397万2515円 支出 3億9071万6789円 資本的収支 収入 1億4032万5000円 支出 2億7558万 536円
議案第 50 号	令和 6 年度八百津町一般会計補正予算（第 4 号）	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	1億165万3000円を追加し、 予算総額を64億3548万8000円とする
議案第 51 号	令和 6 年度八百津町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	622万3000円を追加し、 予算総額を13億7681万7000円とする
議案第 52 号	令和 6 年度八百津町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	159万9000円を追加し、 予算総額を11億7159万9000円とする
議案第 53 号	財産の取得について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	地方自治法及び八百津町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、小学校教師用デジタル教科書及び指導書、特別支援教育指導書購入について事後的に議会の議決を求めるもの
議案第 54 号	財産の取得について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	地方自治法及び八百津町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、小学校教師用デジタル教科書及び指導書、特別支援教育指導書購入について事後的に議会の議決を求めるもの
議案第 55 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	任期満了に伴う委員の選任（永田幹雄さん）
議案第 56 号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	任期満了に伴う委員の選任（垣内公一さん）

ピックアップ PICK UP!

○決算認定とは？

決算認定とは、町の各会計の決算内容を確認し、確定することです。

町に入ってくるお金（歳入）と使ったお金（歳出）を確認し、予算を執行した結果、どのような成果を上げたか確認します。

監査委員の意見書が添えられた「決算書」、「決

算附属書類」を基に、慎重に審議しています。

○計算は正しく行われているか。

○事業が適正に執行され、むだなくきちんと使われているか。

○町民の暮らしにどのように活かされているか。

○行われた事業は効果があったか。

一般質問

～ 主な質問と答弁の趣旨 ～

一般質問と答弁は、質問議員本人の文責で掲載しています。

一般質問を動画配信しています ぜひご覧ください

「YouTube 八百津町議会チャンネル」



質問者	質問事項	
アディエ 三恵	○八百津町再生可能エネルギーの取り組み内容について ○学童保育の時間延長について	
赤塚 孝博	○上水道施設の耐震性と巨大地震発生時の断水対策等について	
後藤 香代里	○「長期休みの子どもたちの居場所」について	
林 俊宏	○災害発生に備えた啓発強化について	
渡邊 成章	○10月から行われる新型コロナワクチンの定期接種について	



アディエ 三恵 議員 「八百津町再生可能エネルギーの取り組み内容について」
「学童保育の時間延長について」

動画をチェック！



問1-1

2016年に策定した八百津用再生可能エネルギービジョンでは、「住みやすく・観光客が訪れる・魅力ある町」、約80%森林に囲まれる自然豊かな町を後世へ残していくため取り組んできた。2024年度までに、町内で様々な取り組みの普及展開を行うとのことだが、現時点での取り組み内容は。

問1-2

放課後児童健全育成事業、通称学童保育は働く保護者にとってなくてはならない事業である。保育園（久田見を除く）は午後6時30分までの預かりだが、学童保育は午後6時までの預かりとなっている。学童保育の時間延長について検討しているか。

答1-1 (赤塚地域振興課長)

再生可能エネルギービジョンに基づいて実施した事業といたしましては、防災センターの南に災害時でも太陽光発電と水素による発電ができる電気・給湯・水の供給システムを導入しています。一方、事業の中心となる久田見の水素製造装置は、国の補助事業の要件に合わず、現在まで進んでいません。

そのほか、岐阜大学が燃料電池を搭載した電動アシスト自転車の実証実験を行ったり、水からでなくアンモニアから水素を取り出す実証実験を行ったりと、様々な研究を行っています。昨年7月には企業の主催で、官民学が連携し、事業推進に努力している状況です。

答1-2 (大鋸教育課長)

学童保育と延長保育の時間差への声は、教育委員会として把握しています。

現在、人的な確保が可能かなど、事業者に対し問い合わせを行っており、延長の可能性については教育委員会としても前向きに研究、検討している状況です。



赤塚 孝博 議員 「上水道施設の耐震性と巨大地震発生時の断水対策等について」

問1

当町は、南海トラフ巨大地震の防災対策の推進地域に指定されている。巨大地震による影響は、建物の倒壊や停電、断水、液状化などが想定され、ライフラインが寸断されるおそれがある。以下について伺う。

- ・ 上水道施設の耐震性について
- ・ 上水道の長期断水時の対策について
- ・ 災害時協力井戸について
- ・ トイレ機能の確保について
- ・ 循環式トイレの導入について
- ・ マンホール用トイレの導入について

動画をチェック！



答1-1 (平井水道環境課長)

- ・ 想定される強さの地震に対し、浄水施設の耐震化率は 74.8% (全国平均 43.4%)、配水池の耐震化率は 75.25% (全国平均 63.5%)、管路の耐震適合管率 28% (平均 9.2%) と、平均を上回っている状況です。さらに、順次、耐震管への布設替えを行っています。
- ・ 断水時は、給水車による運搬給水、給水袋による飲料水配給を実施します。
- ・ 災害時協力井戸は 40 件、そのうち 38 件が電動ポンプ式です。公表については検討中です。
- ・ 災害時のトイレの確保は、携帯トイレと仮設トイレで対応をします。携帯トイレは町全体で 8700 回分備蓄しています。
- ・ 循環式トイレは、汚水を高度に処理し、循環再利用するものです。建設費用が高額なうえ、1 日当たりの処理能力に制限があるため、災害用トイレとして設置は考えていません。
- ・ マンホールトイレは、悪臭がしないなど衛生的ですが、下水道本管が破損してしまうと使用できず、水や汲み取りが必要となります。今後、調査・研究したいと考えています。



後藤 香代里 議員 「『長期休みの子どもたちの居場所』について」

問1

少子化が急速に進む当町において、子どもたちが長期休みに自由楽しく遊べる場所が少ないことは、危惧すべき課題である。

子どもたちの居場所、遊び場として、児童館や児童センターなどを設置する考えはあるか。また、既存施設に児童館の役割を持たせることはできないのか。

動画をチェック！



答1-1 (大鋸教育課長)

新たな児童館を建設する計画はありませんが、夢広場ゆうゆうや学童保育施設が児童館の機能の大部分を担う施設となっています。

子どもの居場所確保への取り組みとしては、学童保育事業を展開しています。児童の安全のため、常に大人の目が届くよう、資格者の確保を含めて事業者に運営を委託しています。

出張所併設の公民館やセンターは、実際にお子さんが放課後や長期休みに利用しています。図書室や図書コーナーを設置していますので、利用しやすいのではないかと思います。



林 俊宏 議員 「災害発生に備えた啓発強化について」

問1

現在、災害発生時には、やおつーしんで情報発信がされており、特に避難所開設時には早めの避難を呼びかけているが、自主的に避難する方は少ない。また、高齢者の中には自力で避難所に行くことが困難な方もおり、自治会との連携、共助の重要性が高まっている。今後の啓発について伺う。

動画をチェック！



答1-1 (鈴木防災安全室長)

町では、令和 4 年度に防災ハザードマップを作成し、配布しています。避難所への避難経路を確認し、早めの避難行動をとっていただきたいと考えています。また、自治会の防災活動に対し、補助を行っています。今後も気象・防災情報の発信、防災訓練や防災教室の実施をととして、啓発につとめます。



動画をチェック!



問1

10月からの新型コロナワクチンの定期接種では、レプリコンワクチンの接種が開始される。自己増殖型のレプリコンワクチンは、人から人へワクチンを伝播する「シェディング」の危険性があるとされており、不安を感じる方も多い。

このような自己増殖型mRNAワクチンを実際に使用するのにはリスクが高いと考えるが、町としてリスクの把握はしているか、なぜそこまでして定期接種を行うのか、町の考えを問う。

答1-1 (岩井健康福祉課長)

新型コロナワクチン接種に関する健康被害への懸念、副反応の情報は、厚生労働省のホームページなどで情報提供されています。一方、ワクチンの安全性と有用性に関する情報も同ホームページで提供されています。新型コロナウィルスは重症化、死亡のリスクが高く、特に高齢者や基礎疾患を持つ方にとって、ワクチン接種が命を守る重要な手段です。

新型コロナワクチンの定期接種は、法令で定める予防接種であり、接種の機会を提供することは市町村の責務であるという認識のもと、政府・専門機関の指導とガイドラインに基づき実施します。

町民の皆様が安心して接種を受けられるよう、ワクチンの安全性・有用性、副反応などのリスク、国の救済制度など関連情報の提供、懸念がある場合の適切な相談・手続きなど、対応して参ります。

大会デジタル「配信」参加



10月28日、岐阜市で開催された全国環境整備事業協同組合連合会主催の大会デジタル「配信」に議員3名が参加し、浄化槽管理のデジタル化について学びました。

リトアニア カウナス市副市長ら来町



10月26日、姉妹都市であるリトアニア共和国カウナス市の副市長をはじめ、市の要人が来町されました。一行は、杉原千畝記念館を見学後、町長、議長らと懇談、交流を深めました。

祝 SAGA 2024国民スポーツ大会

カヌーワイルドウォーター・カヤックシングルスプリント 優勝
カヌーワイルドウォーター・カヤックシングル1500m 準優勝
鈴木侑也選手(八百津町役場) 連覇おめでとうございます

林議員 加藤議員 自治功労者表彰を受章



林俊宏議員、加藤良治議員の2名が、多年にわたり議員として活躍した功績を称えられ、県町村議会議長会から自治功労者表彰を受けました。

2人はともに、平成23年に八百津町議会議員に初当選、現在は4期目となります。

林議員は平成27年から2年間議長を、そのほか、副議長、建設文教常任委員会委員長などを歴任しています。

加藤議員は令和3年から2年間議長をつとめ、総務民生常任委員会委員長、議会運営委員長など歴任しています。

山田勉さん 高齢者叙勲（旭日双光章）を受章



元議員の山田勉さんが旭日双光章を受章され、9月24日、役場公室で金子町長から賞状と勲章の伝達を受けました。

山田さんは昭和11年7月10日生まれの88歳。昭和42年から令和5年まで、12期48年間の長きにわたり、町議会議員として活躍されました。

特に、昭和45年から46年、50年から51年、54年から55年の計3年間は議長を務め、議会の円滑な運営に尽力されました。

山田さんは、「地域のためにという思いでやってきました。表彰いただけて大変うれいす」と語りました。

山田さん、受章おめでとうござい
ます。

松下政経塾塾生 地方自治研修に来町



10月19日、未来のリーダーを育成する松下政経塾の塾生6名と塾頭が地方自治研修を開催し、正副議長と懇談しました。

町議会議員としての活動内容や役割、二元代表制について、また、地域住民との対話方法などについて語り、塾生からも盛んに質問がありました。

志高い若者たちの熱心な姿に刺激を受け、改めて議員とは何かを考える機会となり、身が引き締まる思いです。

今後の活躍に期待しています。

[7月]

- 4日～5日
 - 総務民生常任委員会先進地行政視察研修
- 4日 ○東海環状自動車道中東濃地域建設促進協議会定期総会
- 5日 ○可茂地域一部事務組合議会臨時会
- 8日 ○国道41号線美濃加茂・下呂間強化推進同盟会定期総会
- 19日 ○議会全員協議会
- 22日 ○議員研修(分かりやすい説明の仕方研修)
○公会計説明会
- 23日～24日
 - 総合計画審議会
- 24日 ※監査委員研修協議会総会・研修会
- 25日 ○四線促進期成同盟会総会
※例月出納検査
- 26日 ※随時監査
- 30日 ○国道418号整備促進期成同盟会総会

[8月]

- 4日 ○蘇水サマーフェスタ
- 6日～8日
 - ※決算審査
- 11日 ○八百津町戦没者追悼式
- 19日 ○後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 21日 ○新任議員研修会
○中学生海外派遣研修出発式
- 22日 ○議員研修(実践プレゼンテーション研修)
○瑞浪市議会情報交換会
- 26日 ※例月出納検査
- 27日 ○岐阜県町村議会議長会評議員会
- 30日 ○総合計画審議会

[9月]

- 4日 ○議会運営委員会
- 8日 ○ぎふ自衛隊音楽まつり
- 12日 ○議会全員協議会
○第3回議会定例会開会
- 17日 ○建設文教常任委員会
- 18日 ○総務民生常任委員会
- 20日 ○議会全員協議会
○第3回議会定例会閉会
- 24日 ○高齢者叙勲表彰伝達式
○総合計画審議会
- 25日 ※例月出納検査
- 26日～27日
 - 建設文教常任委員会先進地行政視察研修

議会だより 11月号編集委員会



議会だより編集委員会

安藤 峰行 議長 後藤 一夫 副議長
アディエ 三恵 議員 渡邊 成章 議員

八百津町議会次回の定例会は
11月29日(金)
開会の予定です

定例会2日目の一般質問の様子は
CCNet **地デジ12ch**で
生中継・録画放送されます

詳細は議会事務局までお問い合わせください
☎43-2111(内線2303)

一般質問
動画配信中！
ぜひご覧ください

「YouTube 八百津町議会チャンネル」



チャンネル登録をお願いします

